

所属	心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	修了年度	2021 年度
氏名	染谷 紋加	指導教員 (主査)	小池 眞規子

論文題目	<b>感染症へのリスク知覚が高齢者偏見に及ぼす影響</b>
------	-------------------------------

### 本文概要

【問題と目的】高齢化が急速に進む日本において、高齢者と他世代との調和が求められているが、それを阻む要因として高齢者偏見が挙げられる。高齢者は、加齢に伴う身体的な変化などにより、病気との認知的連合が持たれやすく、感染症に罹っていると考えられる人を選択的に避け、感染症に罹る危険を回避する病気回避メカニズムを要因とした偏見が生じやすい (Duncan & Schaller, 2009)。石井・田戸岡 (2015) は、大学生において高齢者との同居経験がなく、病気への顕現性がある場合に高齢者偏見が高まると示している。また、樋口 (2018) から病気回避メカニズムの駆動には生命の危機に対するリスク知覚が関連していると考えられる。Loewenstein, Weber, Hsee, & Welch (2001) は、リスク知覚について、感情的リスク知覚 (ARP) と認知的リスク知覚 (CRP) から捉える必要があると示している。さらに、性別が高齢者偏見に関連することを示されている (坂井, 2018)。そこで、本研究では病気への顕現性および感染症へのリスク知覚、性別を考慮したうえで、感染症脅威が高齢者偏見に及ぼす影響について検討を行い、高齢化が進む日本の高齢者偏見に関する視座を高めることを目的とする。

【方法】大学生 199 名 (顕現性あり 99 名, 顕現性なし条件 100 名) を対象に、Web サイトを利用した無記名のアンケート式調査を実施した。調査内容は、フェイスシート (年齢, 性別), 病気に関連する質問項目 (石井・田戸岡, 2015), Scale to measure affective risk perception (ARP) 日本語版, Scale to measure cognitive risk perception (CRP) 日本語版, Short Health Anxiety Inventory (SHAI) 日本語版 (山内 他, 2009), 日本語版 Fraboni エイジズム尺度 (FSA) 短縮版 (原田 他, 2004) であった。また、調査内容のうち日本語版 Fraboni エイジズム尺度の順番を入れ替えた 2 種類のアンケート調査を作成し、Web サイト上で無作為に入れ替えることにより顕現性条件の操作を行った。

【結果と考察】本研究を行うにあたり、ARP 日本語版および CRP 日本語版について信頼性を検討するためクロンバックの  $\alpha$  係数を算出し、ともに内的整合性を確認した (順に,  $\alpha=.85$ ,  $\alpha=.89$ )。また、妥当性を検討するため ARP 日本語版および CRP 日本語版と SHAI の下位尺度得点との相関係数を算出し、ARP 日本語版で収束的妥当性を確認した。しかし、CRP 日本語版では収束的妥当性が確認できなかった。この要因として、感染症脅威によってもたらされる不安の性質と SHAI が測定する不安の性質の違いなどが推測され、CRP 日本語版の構成概念の見直しを行い、精緻化を進めることが今後の課題である。次に、ARP 得点と CRP 得点をそれぞれの平均値で高低に分けた組み合わせで 4 群に分類し、病気への顕現性と感染症へのリスク知覚を独立変数、高齢者偏見を従属変数とした二要因の分散分析を行った。その結果、交互作用が有意であり ( $F(3, 191)=3.71$ ,  $p<.05$ )、単純主効果の検定から ARP が高く、CRP が低い群において顕現性がない場合に高齢者偏見が高まることが示唆された。しかし、この結果は本研究における「感情的リスク知覚が高く、認知的リスク知覚が低い場合に感染症脅威による高齢者偏見を高める」とする仮説とは異なるものであった。また、病気への顕現性と性別を独立変数、高齢者偏見を従属変数とした二要因の分散分析を行った結果、顕現性の主効果 ( $F(1, 192)=4.04$ ,  $p<.05$ ) と性別の主効果 ( $F(1, 192)=10.42$ ,  $p<.001$ ) がそれぞれ有意であったが、交互作用は示されなかった。こうした背景には、本研究が新型コロナウイルス感染症の流行下で行われたことで、メディア報道や感染症の重症度に関する認識など様々な影響があったことが考えられた。以上のことから、状況要因や個人要因についてサンプリングや分析の段階でより精密な統制を行うことが今後の課題である。